

シニアにおける  
『老後』と『住まい』に関する調査

調査結果・抜粋

2015年8月実施

三菱日立ホームエレベーター株式会社

## 調査概要と、回答者属性

### 【調査目的】

- わが国において、今後、更なる高齢化が予想される中で、シニア世帯の住宅設備のあり方を考える上での参考資料としていく。

### 【調査対象と規模】

- 「持ち家戸建て居住」「既婚」「子ども有」「自宅に同居世帯なし」の全ての条件を満たしている、60歳から75歳までの男女600名

### 【調査期間】

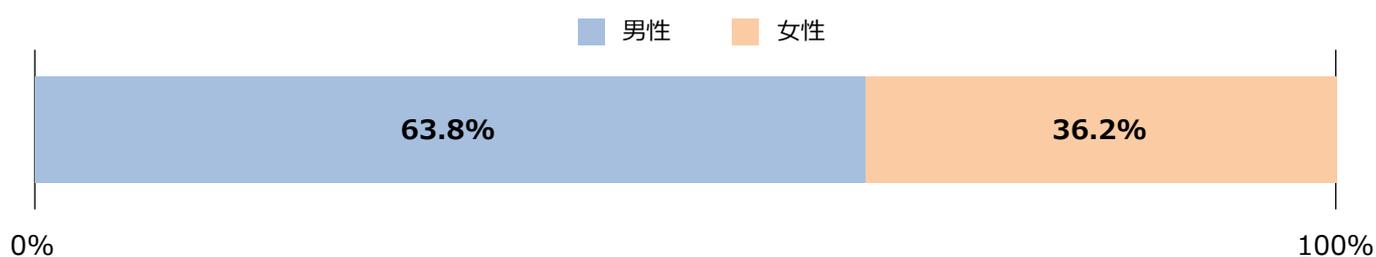
- 2015年8月10日～8月15日

### 【調査方法】

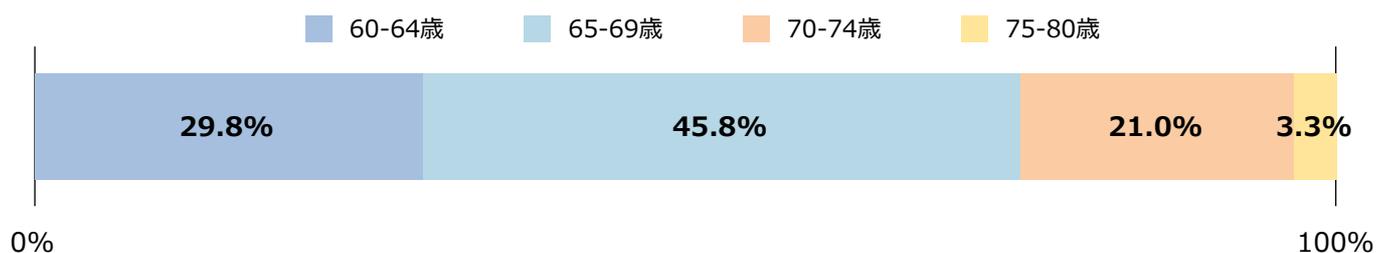
- インターネット調査

### 【回答者属性】

【図表1】 性別 N=600



【図表2】 年齢 N=600



## 調査結果① — 「老後」についての意識

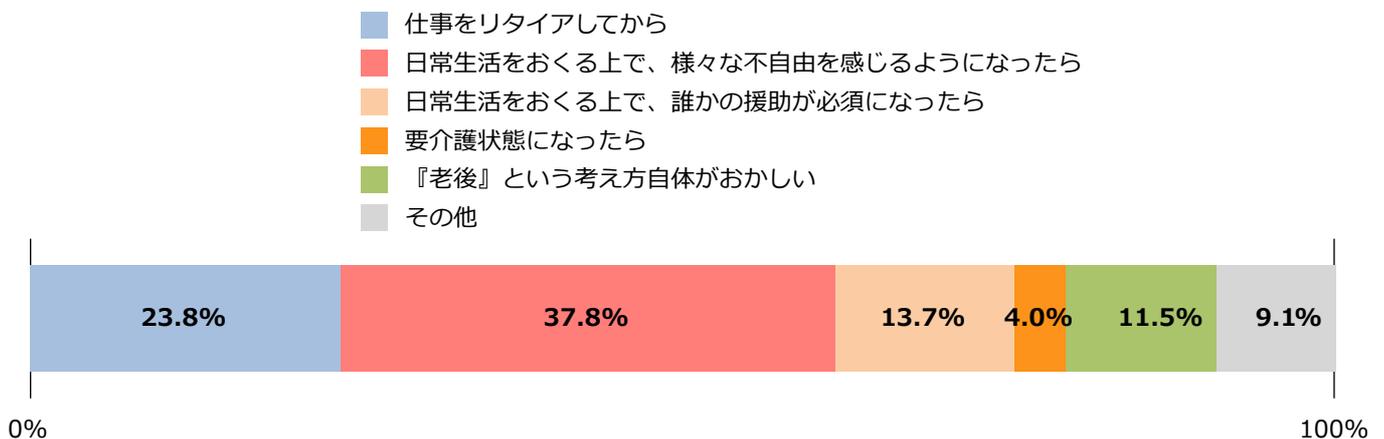
【Q1】 N=600

今、あなたご自身は『老後』だと思いますか。（回答は1つだけ）



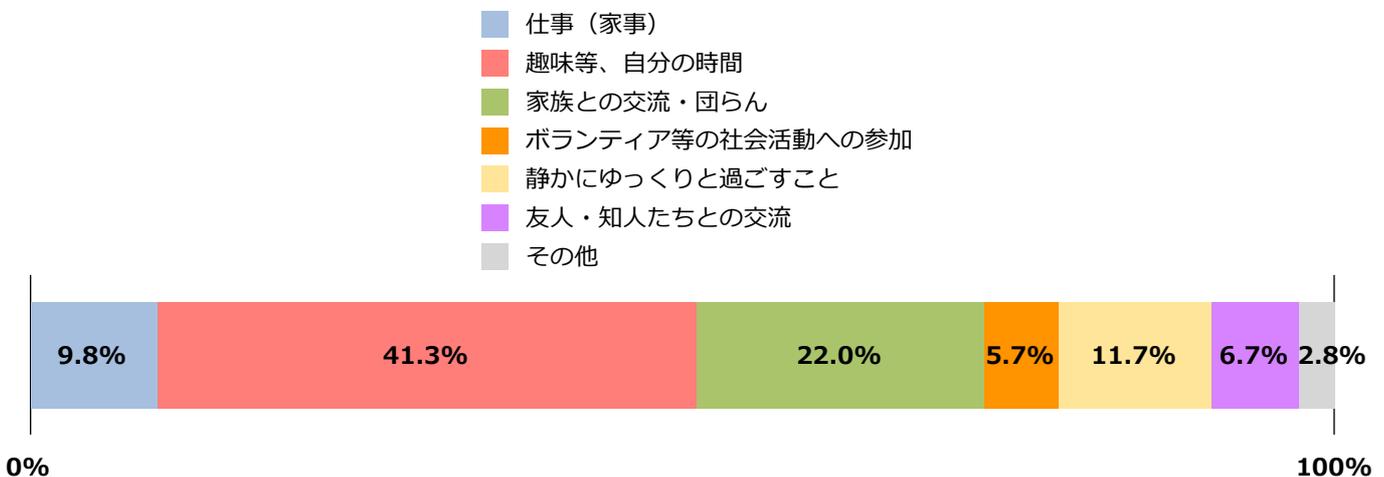
【Q3】 N=600

仮に『老後』を身体状況や生活スタイルの変化で区分すると、あなたはどの状況から『老後』だと思いますか。最もあてはまるものをお選びください。（回答は1つだけ）



【Q5】 N=600

下記の中から、あなたが、今、生活する上で、最も重要視していることを教えてください。（回答は1つだけ）



## 調査結果② — 「老後における自立」意識

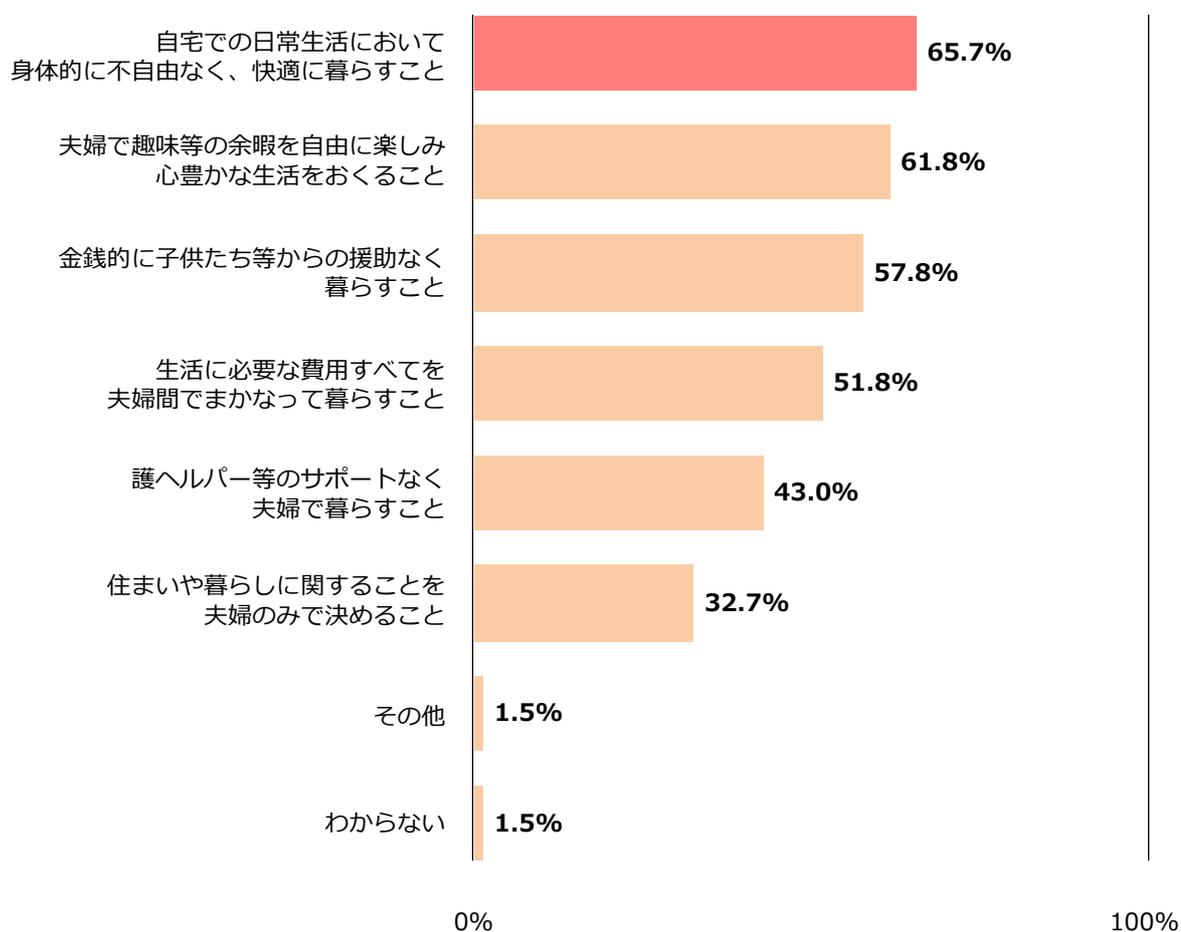
【Q6】 N=600

あなたたちご夫婦は、現在、『自立した生活』をしていると思いますか。（回答は1つだけ）



【Q7】 N=600

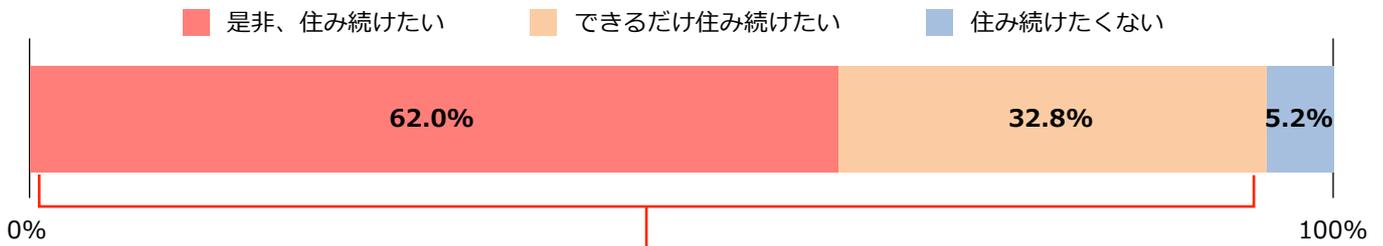
あなたにとって、ご夫婦での『自立した生活』の定義をお選びください。（回答はいくつでも）



## 調査結果③ — 「老後」と「現在の住居」について

【Q9】 N=600

現在の住まいに、できるだけ長く住みたいですか。（回答は1つだけ）



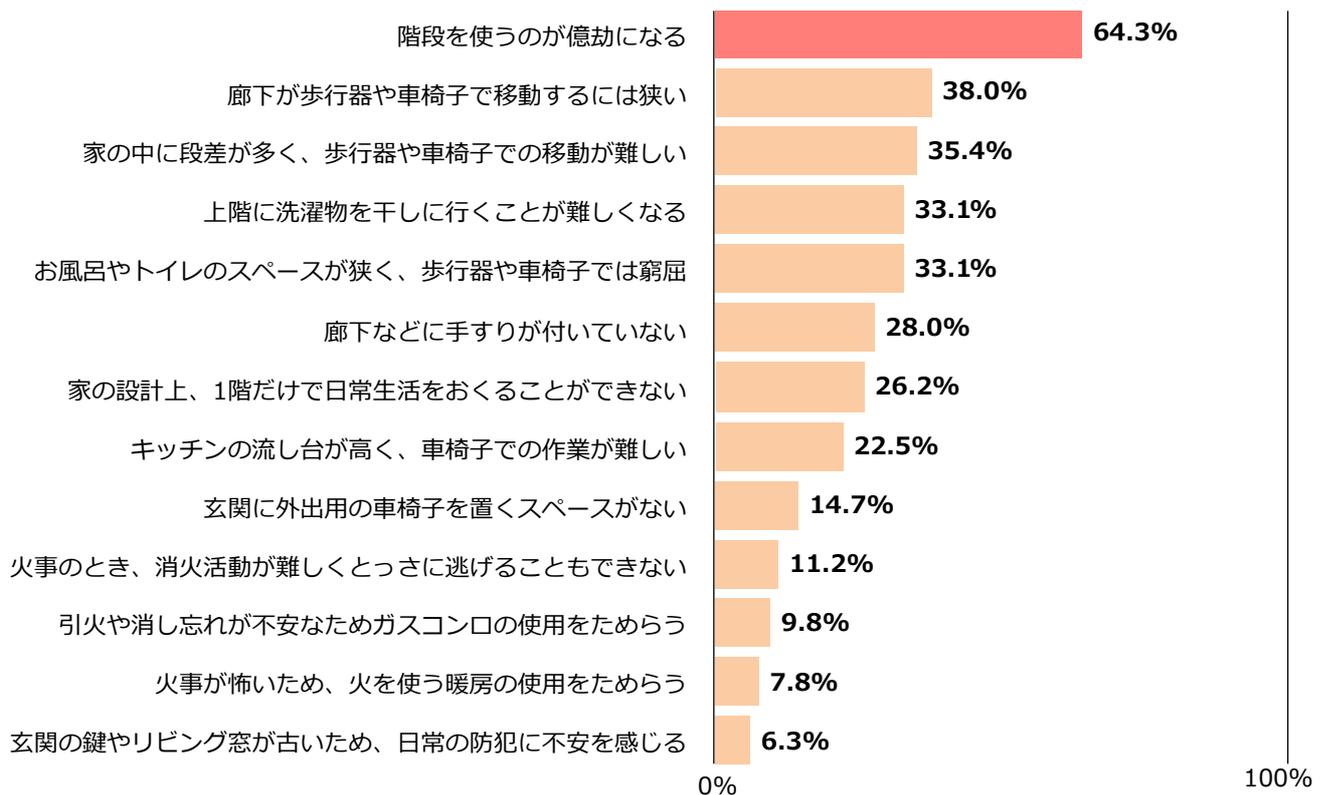
【Q10】 N=569

今後、足腰が弱くなり、歩行器や車椅子が必要になった場合、現在の住まいでストレス（不自由）なく住み続けられますか。（回答は1つだけ）



【Q11】 N=347

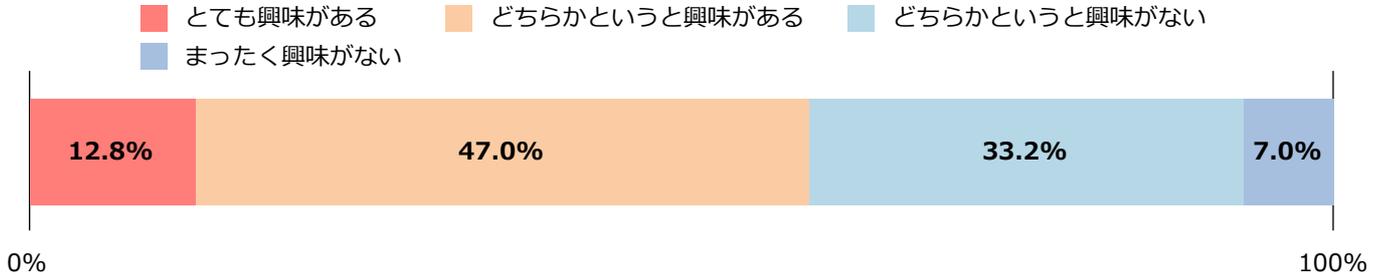
具体的にどのようなストレス（不自由）を感じると考えますか。（回答はいくつでも）



## 調査結果④ — 「老後へ向けたリフォーム」について

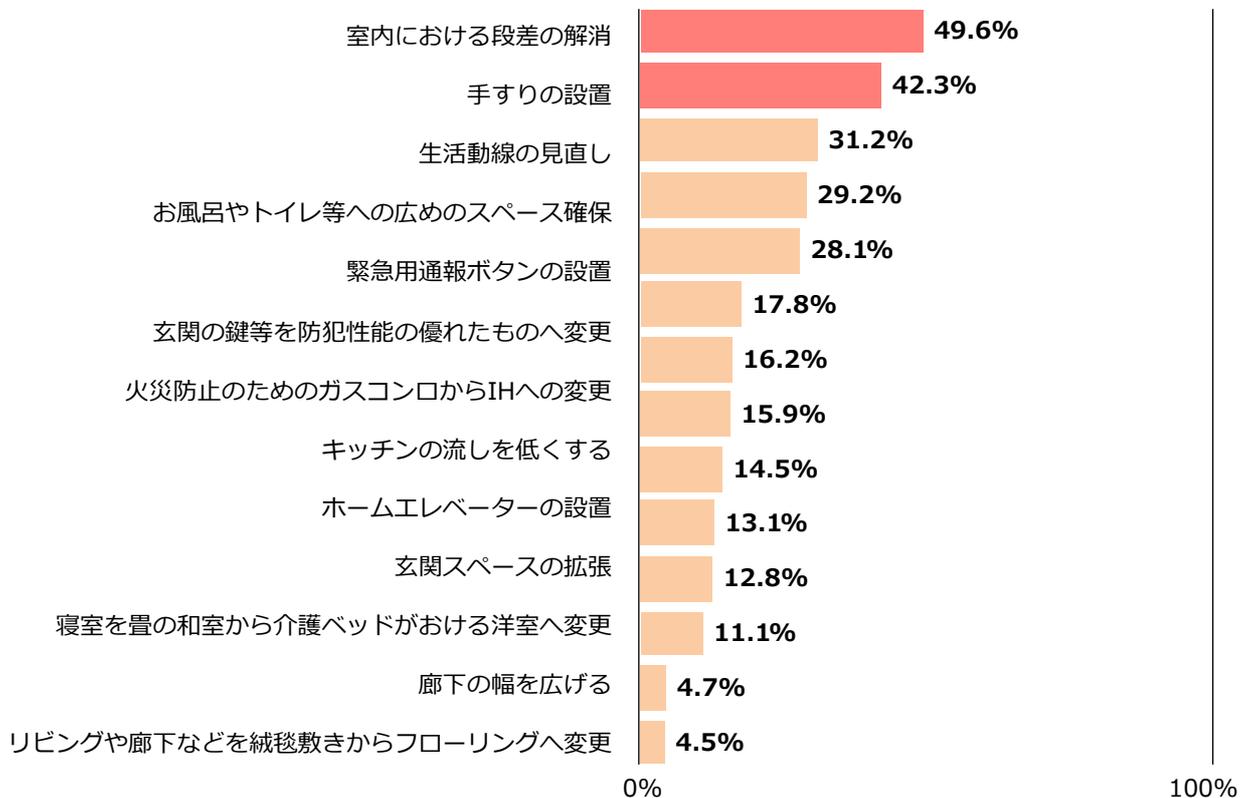
【Q12】 N=600

今後、足腰が弱くなり、歩行器や車椅子が必要になった場合でも、自宅でストレスなく（自由に）生活できるリフォームや建て替えに興味がありますか。（回答は1つだけ）



【Q13】 N=359

どのように改善（リフォームや建て替え）をしたいと思いますか。（回答はいくつでも）



【Q14】 N=600

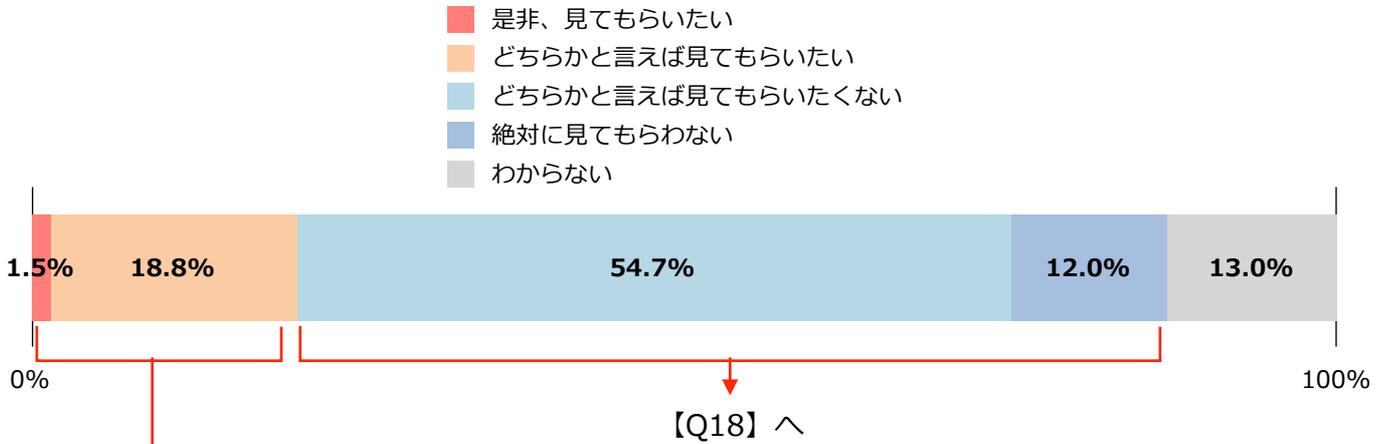
今後、足腰が弱くなり、歩行器や車椅子が必要となった場合、上階への移動手段としてホームエレベーターがあったら便利だと思いますか。（回答は1つだけ）



## 調査結果⑤ — 「子供に面倒を見てもらうこと」について

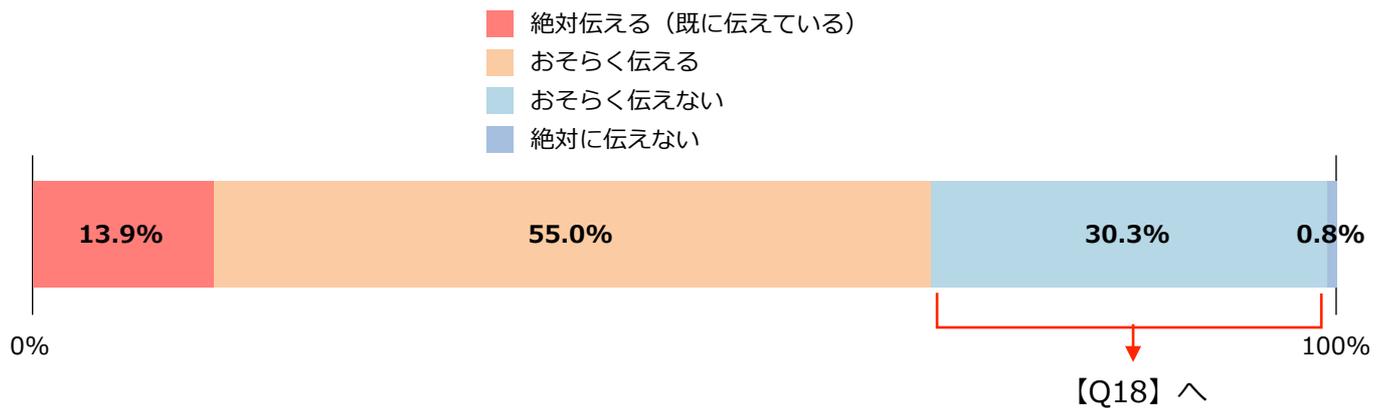
【Q15】 N=600

将来、介護が必要になった際、自分の子どもに面倒を見てもらいたいですか。（回答は1つだけ）



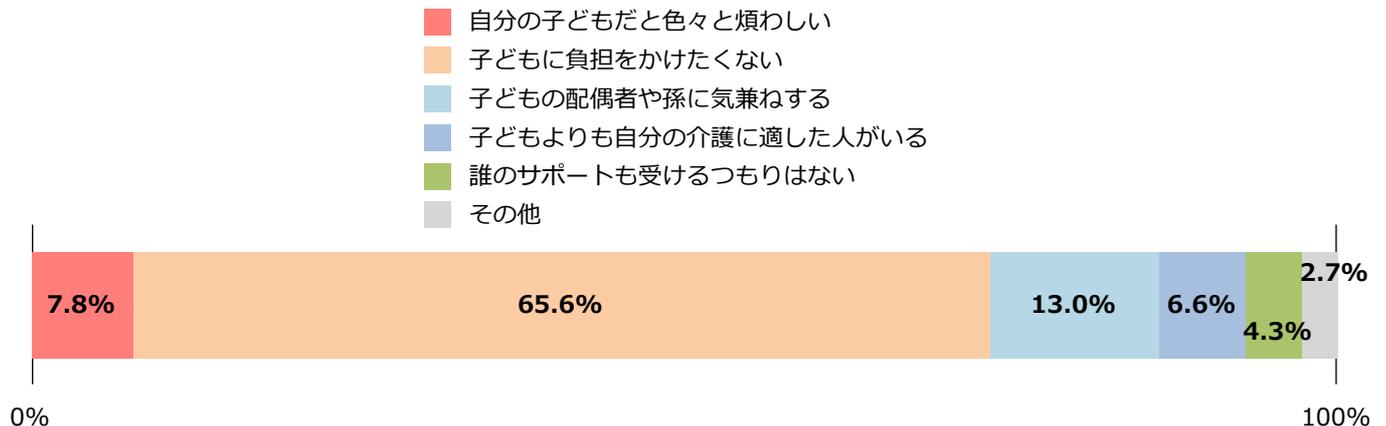
【Q16】 N=122

実際に子どもに面倒を見てほしいと伝えますか。（回答は1つだけ）



【Q18】 N=438

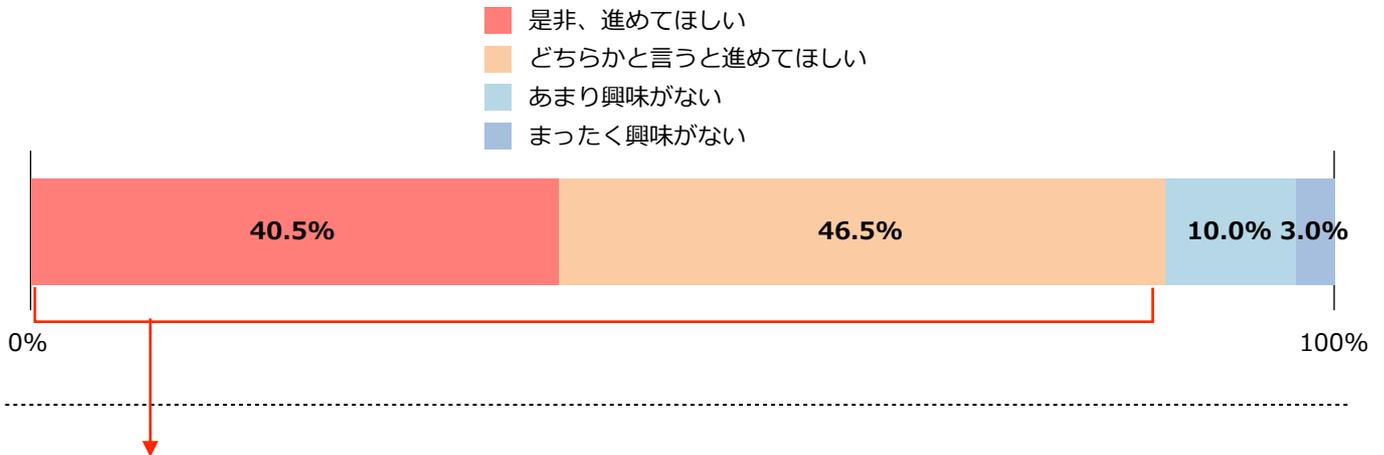
【Q15で、子供に面倒をみてもらいたくない理由】「Q16で、子供に面倒を見てほしいと伝えない理由」をお知らせ下さい。（回答は1つだけ）



## 調査結果⑥ — 「老後」の新たなあり方について

【Q19】 N=600

シニアが自立した生活をできるだけ長く続けられるよう、政府や自治体等に在宅医療の充実や医療のIT化、ロボット介護等の施策を進めてほしいですか。（回答は1つだけ）



【Q20】 N=522

IT化やロボット化された最先端の在宅介護医療が一般化したら、積極的に活用したいですか。（回答は1つだけ）



【Q23】 N=600

「高齢者用シェアハウス」「シニアマンション」等、新しい形の高齢者の住まいのあり方に、興味がありますか。（回答は1つだけ）

